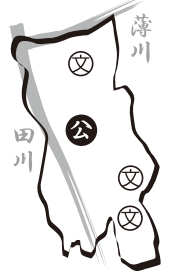


館報

庄内



庄内地区
 令和6年1月1日現在人口
 世帯数 7,273戸
 男 7,334人
 女 7,309人
 合計 14,643人

発行 庄内地区公民館
 (ゆめひろば庄内)
 電話 24-1811
 FAX 24-1812

年末年始の伝統行事

「三九郎」がどんな行事なのか知っていますか？

三九郎



お正月に飾るしめ縄や松飾を集めて焼く火祭りは、「どんど焼き」など様々な名称で呼ばれ、全国各地で行われています。

この行事の起源は、平安時代の宮廷行事の一つ、「サギチヨウ」と言われています。松本でも江戸時代の史料に同じ名前を見ることができ、由来については諸説ありますので、調べてみてはいかがでしょうか。

まゆ玉を焼いて食べることに意味があり、縁起物を燃やす火で焼いたまゆ玉を食べると、その年は病気にならない、虫歯にならないと言われ、多くの人から愛されています。

「三九郎」がどんな行事なのか知っていますか？



コロナ禍で中止となっていたが、三九郎も例外ではなく、ほとんどの町会で中止や簡素化となっていました。昨年コロナが5類となり、様々な行事が再開される中、三九郎も全ての町会で行うことになりました。12月3日には、子ども会育成会による「三九郎講習会」が行われ、多くの方が参加していました。

思い出ばなし

Aさん「昔は、みんな競って大きなものを作っていたなあ」Bさん「確かに、他の町会に負けないようにしていたよ。他の三九郎にいたずらした人もいてね」Aさん「そうそう！ばれて怒られていたよ」Cさん「三九郎を作ってから何日も置いてあったし、そのせいかも」Aさん「中に入って見張ったり食べたり、泊まったりするのが楽しかったよ」Cさん「夜に大きな火が燃えているのが迫力あって、ワクワクしたのを覚えているよ」Bさん「時代によって変わるけど、今も続いてくれて、とてもうれしいね！」

しめ縄作り



12月10日曜日、筑摩町会では午前10時から、住民15名が公民館に集まり、「しめ縄づくり」が行われました。年末の恒例行事ですが、高齢者の方に混じって中学生も加わり、技能の継承も行われ頼もしく感じました。

元来、稲作を主とした農耕民族である日本人は、稲・お米に畏敬の念と尊敬を持って接してきたと思います。稲作でお米を収穫し、その後の稲藁も大切に扱い、家屋の屋根や壁材として使ったり、家畜の飼料としたり、たい肥として使ったり、藁細工で身の回りに使ったり、



「あ」と数日であつたの玄関先や神棚の前に飾られるんだなあ」そして、三九郎の時にはお焚き上げに付される「しめ縄」万歳！

(取材 庄内地区公民館長 梶山 三男)



三九郎の日程 (予定)

6日	12:00	出川 出川第1
7日	12:00	筑摩東
	14:00	逢初、庄内
	14:10	並柳団地
	15:00	南新1 南新2 豊田
	16:00	三才、中林
	16:30	新家
8日	16:30	神田
13日	17:00	並柳、筑摩

地区の町会を知ろう!

中 林

R6.1.1現在
世帯数:291
人口:591人
〔男:301人 女:290人〕

中林の歴史について

中林は、江戸時代から明治8年筑摩村の一部となるまで、村として続きました。古く山辺の林部落と筑摩との間にあったので、その名が付きましたが、薄川の氾濫を避けて、今の地に移転したものと伝えられています。

コロナ禍で3年前より行事は休止になっておりましたが、子ども中心の行事が行われ、魚つかみ大会を始め、中林神社例祭の露店に町内外の小学生が集まり、感動と喜びの笑顔が境内に満ち満ちていました。青年部の皆さまの協力により再開できました。感謝いたします。

小学校のPTAの皆さまの努力により、松本の行事でもある青山様、ぼんぼん、三九郎も復活しました。そして、永年の夢である公民館新築計画の準備を2年前から進めて参りました。

時間はかかると思いますが、皆さまのご協力により、早期に完成できる様、願っています。
(中林町会長 下澤 壽重)

中林町会の公民館活動紹介

私が中林公民館長を担当させていたいたくのは、平成30年4月からですので、現在で6年目を迎えます。ここでは、2つの公民館活動についてご紹介いたします。

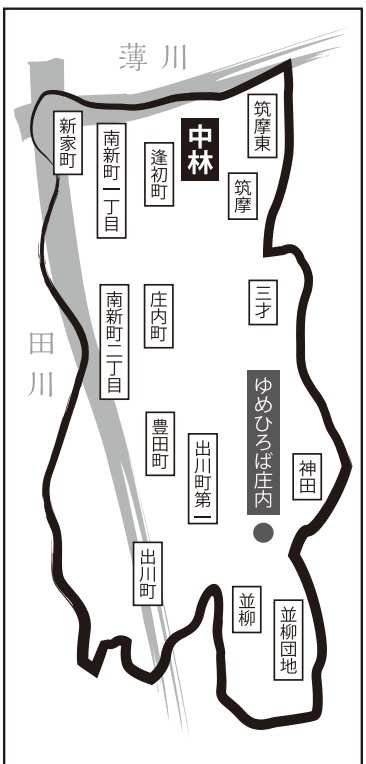
1つ目は「公民館を町内の人全員で掃除する」システムを作りしました。これまで公民館の掃除は館長と副館長のみで行なっていました。が、全員で掃除することにより、公民館と関わる機会も増えて町内の方々の親睦も深まると思つたからです。お掃除当番表を作成し、今では組ごとに持ち回

りで行なっています。2つ目は、町内の方々と地域を散策し、地元を知る活動です。これまでの6年間で7回行ないました。

- ① 地元の酒蔵見学
- ② 中町エリア散策
- ③ 旧開智学校エリア散策
- ④ 穂高神社散策
- ⑤ 山辺エリア散策
- ⑥ あがたの森エリア散策
- ⑦ アルプス公園散策

家に引きこもりがちなご年配の方々を引っ張り出し、町内の方々がお互いに懇親を深める事が出来たと思っております。

今後は、バスを借り、皆さんで唄を歌い、楽しい「大人の遠足」が出来たら、更に町内の親睦は深まると思っております。
(中林町会 町内公民館長 和賀修)



3校合同演奏会を終えて

コロナ禍を過ぎ、学校や地域の行事も漸く以前のようになれることが増えてきました。その一つに地域の防災運動会時に行われていた音楽発表があります。以前は防災運動会だけでなく多くの発表の場がありました。それが戻ってきたことが何より嬉しいことです。

今回、開成・並柳・筑摩が集まり、歌と楽器演奏の両方を楽しむことができました。

保護者の方からも『演奏をした子どもたちは日々の練習の成果を発表できて、近隣の学校の演奏を聴くことで得られるものが多かったと思いますし、保護者にとっても、舞台上に立って頑張る子どもたちを応援することは楽しい時間です。』と感謝の言葉が届いています。子どもからも『また他の学校の人たちに聴いてもらいたい』と好評でした。

地域とつながる行事としてこれからも続いていくことを期待しています。
(筑摩小学校長 五明 佳代)

